

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎



3月の銅の概況及び4月の見通し (3)

| | 予想レンジ | |
|-----------|---------------|------|
| LMEセツル | 8,500-9,500ドル | ● |
| 建値 | 120万円-137万円 | ● |
| 為替 | 135円~140円 | 変わらず |
| (1か月間TTM) | | |

■国内概況まとめ

【自動車生産】

生産動態統計によると2月の自動車生産台数は前年比+6.9%の70万1,312台。輸出は前年同月比+0.9%の29万2,956台。

【自動車販売】

日本自動車販売協会連合会によると3月の自動車販売台数(軽除く)は前年比+15.7%の37万8,557台。

内訳は、乗用車が+16%、貨物が+13.1%、バスは+17.8%。

【住宅着工戸数】

2月の新設住宅着工は、貸家は増加したが、持家及び分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比0.3%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比3.8%の減少となった。

○新設住宅着工戸数は64,426戸。前年同月比 0.3%減、先月の増加から再びの減少。

○新設住宅着工床面積は5,201千㎡。前年同月比1.5%減、先月の増加から再びの減少。

○季節調整済年率換算値では859千戸。前月比3.8%減、3か月ぶりの減少。

【伸銅品生産】

2月伸銅品生産量の速報値は前年同月比12.9減の5万5,210トンで、3か月連続で6万トンを割り、14か月連続のマイナスとなった。2023年2月の伸銅品は、14品目中11品目において前年同月実績を下回った。

伸銅品を取り巻く需要概況は、ごく一部を除き、多く落ち込んできた。半導体は車載向けを除き需要の伸び停滞気味である。また、住宅関連や自動車関連の部品向けは、在庫積み上げ残があり、ここがボトルネックになっている。またデジタル民生用や一般の家電向けの需要も良くない。

全体的に新型コロナの影響を大きく受けた2020年の前、2018年までの需要好調時期から一転、需要が落ち込んだ2019年と比べても、同月比で2割程度生産量が減っている。

銅条: 前年同月比2ヶ月ぶりプラス。引き続き大型物件の再開から、建設向け需要が上向きで、特に配電関係が伸びている。

黄銅棒: 同比14ヶ月連続マイナス。住宅向けの在庫調整が残っており、生産が伸びない。ただ、ホテルのリノベーションなど新たな大型物件再開が本格化している。ただ、この程度のプラス要因では全体の回復にならない。

【電線】

前年比-4.6%の4万9,000 t。

内訳は国内が-3.2%、輸出が-60.5%。

【銅】

【輸出】

電気銅は+38%の5万6,952 t。

スクラップは-1.2%の2万4,751 t。

【輸入】

電気銅は-62.9%の93 t。

スクラップは+31%の1万342 t。

【見通し】

【自動車】

2月の自動車生産が+6.9%。3月国内販売台数が前年比+15.7%。2か月連続で生産、販売共に回復の兆しあり、今後に期待。

【伸銅品生産】

2月伸銅品生産量の速報値は前年同月比12.9減の5万5,210トンで、3か月連続で6万トンを割り、14か月連続のマイナスとなった。2023年2月の伸銅品は、14品目中11品目において前年同月実績を下回った。

伸銅品を取り巻く需要概況は、ごく一部を除き、多く落ち込んできたため来月も期待薄。

【電線】

前年比-4.9%の4万9,000 t。

内訳は国内が-3.2%、輸出が-60.5%。

前月に続きスマートフォンやデジタル家電の低調の為、来月も期待薄。

【スクラップ景況予想】

流通【一次問屋】今月銅建値が128万から122万と下落傾向だった。在庫はスマホ需要低迷からの生産減発生減から在庫薄。需要面に関しては自動車生産販売の回復から一定の需要は出るが、スマホ需要の回復が遅れているため需給は緩む。

【LME・為替予想】

今月は以下の項目に左右される。①欧米の金融政策 ②中国景気回復の動向。

①に関しては、米FRBや欧ECBの昨年からのインフレ抑制の為の利上げによる金利負担からシリコンバレー銀やシグネチャーが破綻したが次期FOMCが5月のため口先介入しかできず一喜一憂の展開になる。

②に関しては、ゼロコロナ解除後景気回復が期待されていたがスマートフォンや自動車販売の低迷が明らかで急回復は望めないのではないか。

これらを踏まえた4月の銅価格は8,500-9,500ドル(セツル)との予想。

ドル円値は135円~140円(TTM)台を予測。

銅建値に関しては120万-137万円程度と予測している。

(「3月の銅の概況及び4月の見通し」おわり)